

糖化の見える化と予防医療セミナー

— 血糖管理を超える抗糖化と、口腔を通じた全身の健康への気づき・社会実装へ —

日 時

2026 年 11 月 3 日（火・祝／文化の日） 13:00～17:35

会 場

甲 南 大 学 ポ ー ト ア イ ラ ン ド キ ャ ン パ ス
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 7-1-20

対 象

医療・歯科関係者、研究者、企業、行政・支援機関、一般の方

開催趣旨

糖化という言葉を知ると、「糖尿病の人に関係するもの」と思われるかもしれません。しかし、糖化は糖尿病に限って起こる現象ではなく、私たちすべての体の中で日常的に生じています。糖が体内のタンパク質や脂質と反応すると、その構造や働きが少しずつ変化し、やがて AGEs（終末糖化産物）と呼ばれる物質が蓄積していきます。こうした変化は、加齢や慢性炎症、血管や組織の機能低下だけでなく、肌の弾力や透明感など見た目の変化とも関わる可能性があり、近年では「老化」や「健康寿命」を考えるうえでも注目されています。そして、糖化の影響は全身だけでなく、口腔にも現れる可能性があります。口腔粘膜、歯周組織、唾液腺などは、炎症、乾燥、感染、防御、創傷治癒といった変化が起こりやすい組織であり、全身の状態を映し出す「窓」とも考えられます。口腔の変化を手がかりに、体の中で進む糖化に早く気づくことができれば、生活習慣の見直しや予防、必要な医療につなげられる可能性があります。

本セミナーでは、「糖化＝糖尿病」という狭いイメージを超えて、糖化が私たちの健康、老化、口腔疾患、さらには美容や健康寿命とどのように関わるのかを分かりやすく紹介します。さらに、糖化を防ぐための研究、糖化によって損なわれた細胞や組織を守り回復させる研究、口腔粘膜を使って糖化を“見える化”する試み、そして日常の健康管理に役立つ携帯型評価機器の開発まで、基礎研究から予防・臨床・社会実装へとつながる最新の取り組みを紹介します。

会場・アクセス

最寄駅 ポートライナー「計算科学センター」駅より徒歩約3分

三宮から ポートライナー「神戸空港行」に乗車し、「計算科学センター」駅で下車

甲南大学 公式アクセス



Google マップ



共催：公益財団法人新産業創造研究機構（NIRO）・抗糖化研究会

協力：甲南大学フロンティアサイエンス学部（FIRST）・大阪歯科大学ほか

プログラム

- 13:00～13:05 開会挨拶
- 13:05～13:15 全体構想 糖化一気通貫プロジェクト ― 基礎研究から予防・治療・社会実装へ
谷口 泰造
株式会社ファルマクリエ神戸 代表取締役
- 13:15～14:00 基調講演 糖化と口腔疾患 ― 口腔から全身の健康を考える
里村 一人
鶴見大学歯学部口腔内科学講座 教授
- 14:00～14:10 休憩
- 14:10～14:55 特別講演 糖化と免疫：予防/治療ならびに効果予測や治療評価の可能性
岡本 正人
合同会社ヒューマン・ヘルシーライフ研究所 代表
医療法人プレシジョンメディカルケア エグゼクティブ・アドバイザー
今から先への治療株式会社 医療戦略顧問
東京昭和医院 再生医療・癌免疫治療統括
- 14:55～15:05 休憩
- 15:05～15:35 研究報告 生薬は糖化をどこまで防げるか？ ― 抗糖化作用の再評価とその可能性
石川 真実
甲南大学フロンティアサイエンス学部生命化学科 助教
- 15:35～16:20 特別講演 タンパク質構造情報は医療に貢献できるかー 宇宙環境を利用した
タンパク質構造研究と創薬
伊中 浩治
株式会社丸和栄養食品 代表取締役
- 16:20～16:30 休憩
- 16:30～17:00 臨床研究 口腔糖化関連疾患の確立を目指して ― 口腔糖化評価法の開発の現状
谷口 諒至
大阪歯科大学歯学部薬理学講座 助教
- 17:00～17:30 開発報告 糖化評価を現場へ ― 蛍光検出によるポータブル POCT プロトタイプの開発
池田 わたる
BelWondRa 代表
- 17:30～17:35 閉会挨拶

お問い合わせ：株式会社ファルマクリエ神戸 谷口 泰造 E-mail：taniguchi@pharmacrea.com

このセミナーは、兵庫県が推進し、公益財団法人新産業創造研究機構(NIRO)が担当している「兵庫県地域活性化雇用創造プロジェクト(第2期：令和6～8年度)」の一環として開催されます。